

中学・高校の理科教員研修会を開催して

黒河宏企（NPO 法人花山星空ネットワーク 理事長）

天文学宇宙の現象は神秘的でスケールが大きいので、多くの青少年に科学の楽しさを教えるのに適しています。「学校にある望遠鏡を授業や野外学習で活用する」ことを支援したい。これが NPO 設立のテーマの一つでもあります。科学技術振興機構が「理数教員指導力向上研修」の助成金を募集していましたので、「天体望遠鏡を活用した理科・自然科学学習の再発見」というテーマで花山天文台から応募して戴きました。採択されましたので、我々 NPO 法人星空ネットワークが全面的に天文台のお手伝いをするようになりました。中学・高校理科教員を対象としたこの研修会は三回行われますが、まず 8 月 7 日に第 1 回が開催され、7 人の参加者に対して 9 人の指導者・協力者が炎天下の中、黒点のスケッチなどに挑みました。以下のレポートは参加者の一人である滋賀大学の立岡さんに当日の様子や参加者の感想などをまとめていただいたものです。

8 月 6 日に花山天文台において、現職教員を対象にした、天体望遠鏡を使った研修が行われ、それに私も参加させていただきました。この研修では、望遠鏡を活用した学習を学校現場に取り入れていくことを目的として、学校でも取り入れやすい『昼間の天体観測』に関する活動が行われました。内容は、黒河先生による太陽活動についての講義



のあと、望遠鏡の使い方や黒点のスケッチの方法、地球の公転軌道の離心率を太陽観測から算出する方法など、扱いやすいものから興味深いものまでありました。参加者は、中学校と高校の理科の先生方で、学校の望遠鏡を持参して、組み立て方や使い方を学ばれている方もおられました。今回の研修を通して、今後

望遠鏡を使っていけそうだという感想や、生徒にも興味のわく内容を伝えられそうだという感想が出されました。また、黒点の観測を実際に行うことで理解が深まり、さらにもっと深い内容を知りたいという声もありました。現在、学校の授業などで望遠鏡を使用することはめったにないと聞きます。今回の研修をきっかけに、そういった活動がどんどん取り入れられていくことを楽しみに思います。

(滋賀大学4回生 立岡由紀子)

会員便り

中山 浩(京都市立堀川高等学校)

法人設立おめでとうございます。在学中はあまり訪問することの無かった天文台でしたが、教員になりましてから、研究会の出版活動や、勤務校のスーパーサイエンス指定に伴う事業に、ご助言をいただく中で、寄せていただき黒河先生の天文普及に対する情熱をお聞きしておりましたので、感慨もひとしおです。

私自身、故宮本先生の講演を科学センターで聞いて以来、天文学や天文教育への興味を失わずにやってきましたし、高校生も今、総合学習のテーマとして、多くの生徒が天文を選択しています。

こういった法人での普及活動から、科学としての天文学が広がっていけば、及ばずながら、高等学校の地学教育の側面からもしっかり支えたいと思います。

プラネタリウムのなかでは、
おおきな宇宙への夢が
育っています。

コニカミルタ プラネタリウム株式会社

東京事業所 〒173-0003 東京都板橋区加賀1-6-1

TEL (03) 5248-7051

大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-10 西本町インテス11階

TEL (06) 6110-0570

東海事業所 〒442-0067 愛知県豊川市金屋西町1-8

TEL (0533) 89-3570